

30年後、あなたなら、どう判断！？

# 熊本市公共施設マネジメントワークショップ 報告書 2024

「持続可能なまちづくり」のために、どうする・どうなるあなたのまち！？



2025年3月



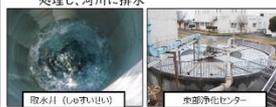
## 目次

DATA 熊本市の概要	1
1. 熊本市の公共施設	
2. 近年の事件事例	
REPORT レポート	2
熊本市公共施設等総合管理計画	
1. 計画の対象期間	
2. 基本方針	
3. 基本方針を踏まえた公共建築物のコスト試算	
新しい「まち」づくり	3
新しい指標	4
公共施設マネジメントワークショップ実施状況	5
崇城大学	
龍田公民館	
熊本県立大学	
東海大学	
アンケート結果	9
Appendix	15

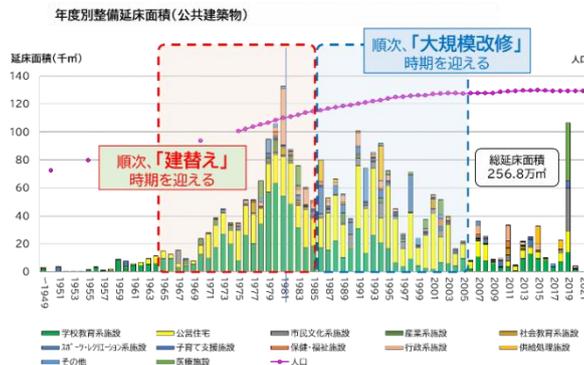
## 1. 熊本市の公共施設

本市では、高度経済成長期及び昭和 50 年代を中心に、多くの公共施設を整備してきました。令和 3 年（2021 年）4 月 1 日現在、建築物 1,602 施設（4,378 棟）を管理しています。これらの施設がこれから一斉に更新の時期を迎えます。

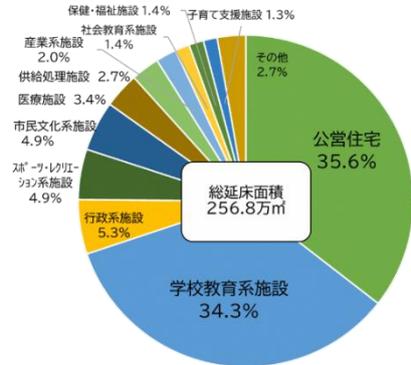
### 【主な公共施設及びインフラ】

<b>庁舎</b> 【21施設】 住民票発行などの市民サービスを提供 市職員の執務室 など 	<b>公民館</b> 【20施設】 市民の自主的な学習活動（自主講座、講演会など）を支援 庁舎機能や児童館などを複合化 	<b>老人福祉センター</b> 【10施設】 高齢者の健康増進に向けて、各種相談業務やレクリエーションを実施 	<b>スポーツ施設</b> 【40施設】 生涯スポーツの拠点として、各種スポーツの施設や設備を提供 
<b>地域集会所</b> 【207施設】 住民の地域づくり活動の拠点 地域コミュニティセンターや、老人憩の家など 	<b>図書館</b> 【21施設】※図書室含む 図書などの貸し出しや相談業務を実施 公民館などに図書“室”を設置 	<b>ホール</b> 【11施設】 音楽や演劇などの会場の提供 令和元年に熊本城ホールがオープン 	<b>博物館・美術館等</b> 【9施設】 文化芸術などに関する展示・展覧会などを実施 特定の人物や歴史に関する観覧施設もある 
<b>市営駐車場</b> 【3施設】※建物ない駐車場を除く 庁舎や熊本城等の利用者向けに駐車場を設置 中心市街地などには自転車駐車場を設置 	<b>レクリエーション・観光施設</b> 【6施設】 本市の観光振興の拠点施設 金峰山少年自然の家は建替予定（R7年オープン） 	<b>上下水道</b> 【上水道管路:3,550km】 【下水道管路:2,718km】 汲み上げた地下水を家庭などに配水 生活排水などを浄化センターできれいな水に処理し、河川に排水 	<b>病院・交通</b> 【市電軌道延長:11.9km】 市民病院・植木病院の2院を開設 健康町～田崎橋（熊本駅）上熊本駅までの2系統の市電を運行 

### 【公共施設の築年別整備状況】



### 【分野別延床面積割合】



## 2. 近年の事故事例

施設の老朽化に伴う事故等が発生しており、事故の未然防止に向けて、日頃の点検や修繕等を適切に実施する必要があります。

（全国）

### 笹子トンネル天井板落下事故

- × 2012.12.2 天井コンクリート板130mにわたり落下、9名死亡、2名負傷
- × 事故要因：施設の老朽化、点検不備



（熊本市）

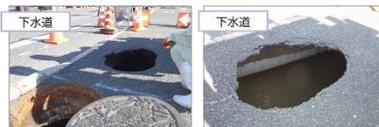
### 外壁・内壁などの落下



- 平成31年1月下旬にすべての公共施設の緊急点検を実施
- その後も、再点検や要修繕箇所の修繕等を随時実施している

### 道路の陥没や水道管破裂の事故

管路の破損に起因して道路陥没や水漏れ

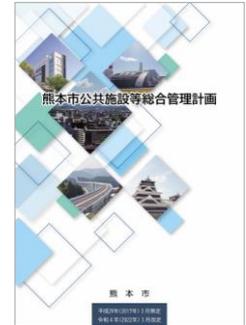


## 熊本市公共施設等総合管理計画

本市の、今後の公共施設マネジメントの取組みの指針として「公共施設等総合管理計画」を策定しました。

### 1. 計画の対象期間

計画期間は総合的管理の観点から中長期的なものとする必要があります。高度経済成長期に建設された建築物やインフラ資産の建て替え・更新時期を見据え、平成 28 年度（2016 年度）から 40 年間を対象期間とします。



### 2. 基本方針

本市が財政の持続可能性を維持しながら、公共施設等を安全かつ適切に維持していくための 3 項目の基本方針としています。

#### 方針1 資産総量の適正化



公共施設等の設置目的及び人口減少や年齢構造の変化に起因する市民ニーズを踏まえた施設の役割・必要性について検討を行い、費用対効果を見極めながら資産総量の適正化に取り組みます。

#### 方針2 施設の長寿命化の推進



今後も活用していく公共施設については、定期的な点検・診断により計画保全に努め、計画的な維持修繕によって長寿命化を図り、長期的な視点で財政負担の軽減と平準化に取り組みます。

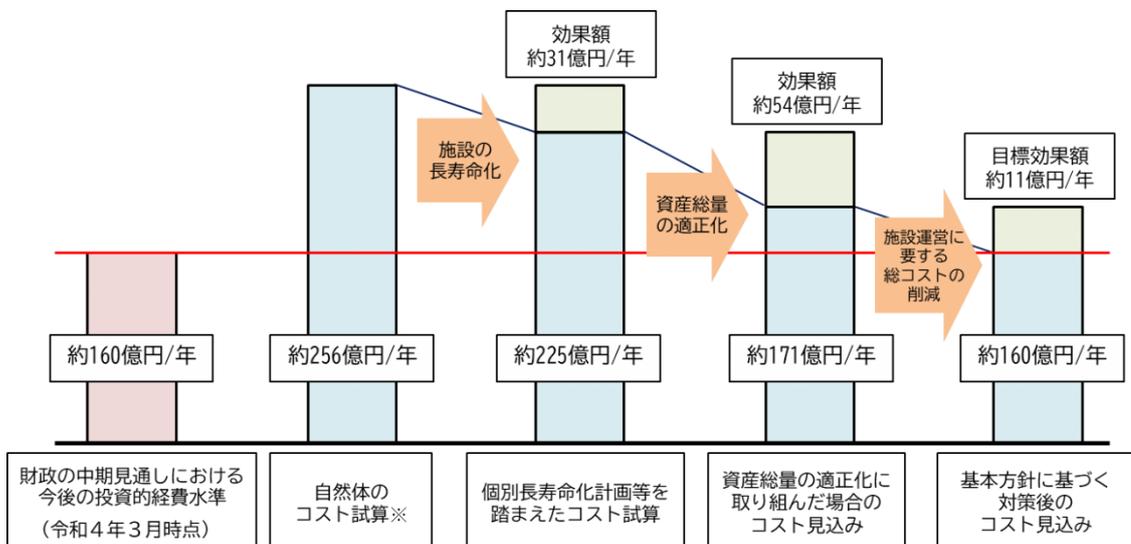
#### 方針3 施設運営に要する総コストの削減



施設新設にあたっては、整備後の補修を考慮した設計を行いコスト抑制できるような工夫も行います。また、民間企業等のノウハウや資金を積極的に活用することも検討し、PPP/PFI 手法など、民間活力の導入にも積極的に取り組みます。

### 3. 基本方針を踏まえた公共建築物のコスト試算

2055 年度までの期間で、熊本市の公共建築物の資産総量を維持したまま保有・更新を行い、長寿命化を図らず 60 年使用するとした場合の維持費を試算したところ、年間 256 億円もの金額がかかることがわかりました。施設の長寿命化を図ってもなお、年間約 225 億円の維持費がかかるため、資産総量の適正化やランニングコスト削減の取組みを進めていくことで、財政の持続可能性の確保に努めていきます。

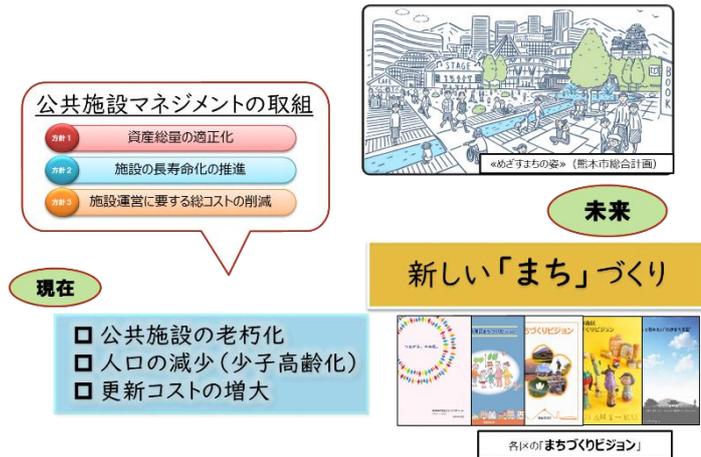


## 新しい「まち」づくり

本市では、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の総合的かつ計画的な管理・活用を推進しつつ、公共施設マネジメントに通じた「上質な生活都市」の実現に向けた取り組みを継続的に行っています。

これらの取り組みに向けて、市民の皆さまと本市の公共施設の現状や、公共施設マネジメントについて情報を共有するとともに、これからの公共施設の在り方、本市のまちづくりについて考える機会として、ワークショップを開催しました。

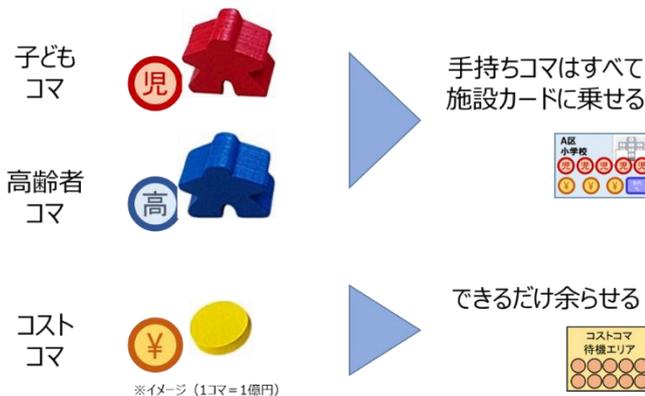
昨年度は3回/年開催でしたが、今年度から5回/年開催（各区での実施）とし、まちづくりに多様な意見を反映できる機会を拡充することを目指しました。



## 「公共施設マネジメント」と「まちづくり」を「公共施設マネジメントゲーム」で体験

### ワークショップのルール

- 熊本市が運営する公共施設の配置計画を考えるゲームです。
- 予算に限りがあるなかで、**増加する高齢者**、**減少する子ども**に対応できるように、**公共施設を建てたり、なくしたり**してください。
- 計画は、**15年後**と**30年後**の2回分作ります。
- 1回につき**15分**で考えてください。
- 最終的に、子どもコマ・高齢者コマのすべてを施設カードに乗せて、**余らせたコストコマが多い**チームが勝ちとなります。



## 新しい指標

昨年度、ルールの一部改訂を行い、本年度も引き続き改定後のルールでゲームを実施しました。現実の公共施設マネジメントに即し、「経済的な施設の効率化だけではなく、市民の幸福度を高める」という考え方のもと、ゲーム終了時に各プレイヤーの満足度を評価しました。

### 追加されたルール

- 各プレイヤーには、30年後終了時に市民としての満足度を三段階で評価してもらいます。
- 市長役を除くプレイヤーは主観で満足度を評価します。
- 評価項目はだまかに「区の住民としての評価」「職業人・社会人としての評価」「住みたいまちになっているか」および、「複合化の有無」の4項目。
- 30年後が終了した後に、各プレイヤーごとの☆の数を市全体で合計し評価。
- 15年後・30年後のまちづくりを1セットとし、2セット繰り返す。1セット目は旧ルール（コストを余らせる）、2セット目を新ルール（満足度を測定）で実施。

### 追加ルールのねらいと開催結果

- 本ゲームの際にプレイヤーが通常最も気にする指標は「いかにコストコマ（お金）を余らせるか」です。従来のルールであれば、参加者の議論の中心は「お金」となることがほとんどでした。
- 新シート（右の図表）を作成し、お金以外の指標で満足度を評価するルールを追加しました。
- お金以外の指標を見える化して全員に配布したことで、他者が何を求めているのかを明らかにした状態で議論が可能となりました。
- 新ルールにおいても、少子高齢化が進み、コストを余らせることが要求されます。しかし、旧ルールと比較すると、意見しにくい内容（お金がかかる施設の新設等）であっても、自身の満足度向上のために積極的に発言する場面が見受けられました。
- 旧ルールにおいても、7種類の役割は存在していたものの、ゲーム中は自分の役割を忘れがちになっていました。今回、プレイヤー別の満足度指標を設けたことで、自分の役割を強く認識し、立場を踏まえようでの議論が促すことができました。

### 市民の満足度の評価シート

ワークショップ(2回目)の新しい指標 ~お金以外のものさして街を見てみよう~

市長	PTA役員	スポーツ団体職員			
残ったお金(☆3つ制) 1億: ☆ 2億: ☆☆ 3億: ☆☆☆	C区の施設の設置状況 ☆☆☆	A区の施設の設置状況 ☆☆☆			
老朽化した施設が 残った数(☆3つ制) 2: ☆ 1: ☆☆ 0: ☆☆☆	市全体の学校の数 ☆☆☆	市全体のスポーツ施設の数 ☆☆☆			
空地の数(☆3つ制) ☆☆☆	温泉の有無 ☆☆☆	スポーツ施設の複合化 ☆☆☆			
公民館利用者	文化振興団体役員	読書家			
D区の施設の設置状況 ☆☆☆	市全体の市民ホールの設置 状況 ☆☆☆	B区の施設の設置状況 ☆☆☆			
市全体の公民館の数 ☆☆☆	市全体のスポーツ施設の数 ☆☆☆	市全体の図書館の数 ☆☆☆			
住み続けたい度 ☆☆☆	住み続けたい度 ☆☆☆	住み続けたい度 ☆☆☆			
公民館の複合化または 公民館にカフェの設置 ☆☆☆	市民ホールの複合化または 市民ホールにカフェの設置 ☆☆☆	図書館の複合化または 図書館にカフェの設置 ☆☆☆			
福祉センターの利用者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>_____市</td> </tr> <tr> <td>☆ _____個</td> </tr> </tbody> </table>		合計	_____市	☆ _____個
合計					
_____市					
☆ _____個					
A区の施設の設置状況 ☆☆☆					
市全体の福祉センターの数 ☆☆☆					
住み続けたい度 ☆☆☆					
駐車場の有無 ☆☆☆	市長が全体個数の取りまとめを行ってください。				

# 公共施設マネジメントワークショップ 実施状況

実施会場： **崇城大学 芸術学部棟**

実施日： 令和6年(2024年)11月11日(月)

参加：20名

## ○ワークショップ風景



## ○グループ代表コメント

グループ A ☆72 個

市民の役割に沿って各々のやりたいことを話し合ったが、それをまちづくりに反映させるためのお金の配分が難しかった。

グループ B ☆65 個

公共施設マネジメントワークショップは初めての体験だったが、ゲーム化されていることで、将来のことをより知ろうという気になった。

グループ C ☆74 個

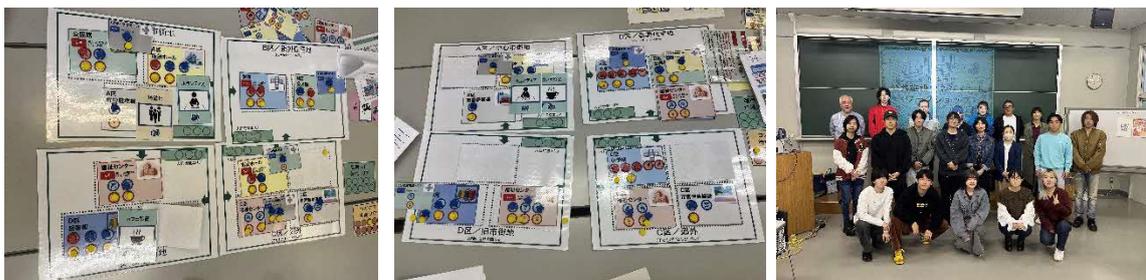
民営化をすればもっと☆(市民の満足度)をもっと増やせた。自分の主観で温泉を残してしまったりして満足度を上げられなかったので、実際に自分が市長になるときは気を付けたい。

## ○識者コメント

<崇城大学芸術学部デザイン学科 原田教授>

様々な人が共存できるまちが良いまちである。実際のまちづくりでは、まち全体をつなぐ交通網がうまく機能することが大切。お金のことだけでなく、最終的には 2 セット目のルールと同じで市民の満足度が大事になる。ぜひ参加者の皆さんには今日の体験を頭に入れてこれからの学びを深めてほしい。

## ○ワークショップ結果一例



実施会場： **龍田公民館**

実施日： 令和6年（2024年）11月14日（木）

参加： 18名

### ○ワークショップ風景



### ○グループコメント

グループ A ☆74 個

1 セット目で学校を減らし過ぎたことで、配置できるマスが余った。高齢者の増加を想定してお金を余らせておいた。最終的にすべてのマスに人を置くことができ、空き地も最小限とどめることができた。

グループ B ☆69 個

1 セット目と比べて小学校を2つ多く残し、公民館、市民ホールを複合化した。これにより、ほとんどの市民の満足度が高いまちづくりができた。一方で、福祉センター利用者の満足度が低いままであった点が課題であり、改善が必要だった。

グループ C ☆63 個

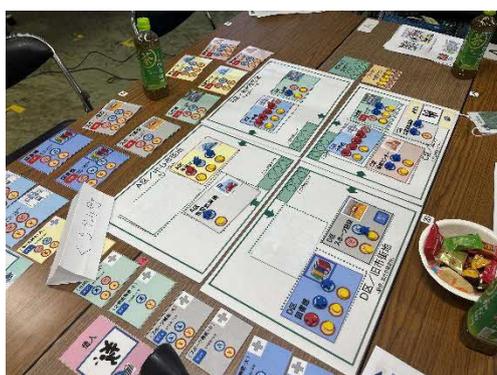
それぞれの立場からの要望で施設を集約するなどしたが、結果的に B 区が空き地だらけになった。すべての市民の要望をかなえてあげるのは難しいと感じた。単純に建物を新設したり、廃止したりするだけでなく、これまでと異なる新しいやり方を取り入れて、希望をかなえてあげることが大事だと思った。

### ○識者コメント

<熊本大学大学院人文社会科学部 大野准教授>

3 グループでまちづくりが異なる結果になった。その理由は、参加する人や好みや考え方の違いによるもので、これは他のテーマで議論の際にも参考になると思う。途中、他のグループの結果を確認する時間があり、これも重要なことだった。社会状況に応じた最適な公共施策に答えはないが、トレードオフは存在する。新たな考え方を生み、協力しながらまちづくりをするという流れになると良い。

### ○ワークショップ結果一例



実施会場： **熊本県立大学**

実施日： 令和6年（2024年）11月18日（月）

参加： 26名

○ワークショップ風景



○グループコメント

グループ A ☆78 個

2セット目では駅前のまちづくりにこだわり、カフェを作ることにした。

グループ B ☆78 個

市全体で2つつつ施設を置くようにして、バランスにこだわった。

グループ C ☆67 個

一つの市に施設を作り過ぎてしまったことを反省した。

グループ D ☆63 個

人がいないマスを増やさないようにしたが、他の人の要望を満たせるようにすればよかった。

○識者コメント

<熊本県立大学総合管理学部総合管理学科 井寺准教授>

持続可能なまちづくりのためのマネジメントが重要である。公共施設はあって当たり前とみんなが思っているが、課題も抱えている。ボードゲームを通して、受益者としてだけでなく、経営の視点でそれを考えることができた。また、マネジメントの手法についての知識も学ぶ機会になった。まち全体を俯瞰的に見て、熊本市全体でのまちづくりについて考えることができていた。印象的だったこととして、みんなが悩んで、議論していたことが良かったと思う。財源の効率的な使い方、市民のニーズでどこに重点を置くか、といったテーマは、参加者によって方向性が変わる。意見が分かれたとき、どのように合意形成していくか。市民が市長に判断を任せる、もしくは市長が自分の意見を通す、参加者の意見を集約していく、などのプロセスから学びや気づきを得られた。

○ワークショップ結果一例



実施会場：**東海大学**

実施日：令和6年（2024年）11月28日（木）

参加：8名

### ○ワークショップ風景



### ○グループコメント

- ・自分の役割があって、自分のしたいことだけをしていると、他の人が犠牲になってしまうので、そのバランスが難しかった。
- ・利用者、市長など地域の人の目線で考えることが、今までになかったので視野が広がった。
- ・必要なものを建てようとする、高齢者が多い、子どもが多いなどの偏りがある、建設が難しいことがあった。ゲームを通してその点が大変分かりやすく伝わってきた。高齢者が増えるということで必要な対応をしていくことを考えると、それは、将来的に難しくなってくると感じた。
- ・全員の意見を聞いて、すべてを解決したい意思があるときに、どこにどうコストを置か難く、バランスをとることが大事と感じた。
- ・100点になることはないが、それでも何とか全部上手く収めようとした。みんなの言う通りバランス難しい。仕事でアンケート調査をしたとき、公民館は要らないという回答が多かったが、今日のゲームでは公民館は残った。
- ・やはり世代で考え方に違いが出た。今日は1班だけだったので、他の参加者がいれば別のまとめり方もあったかもしれない。また、機会あれば参加したい。

### ○識者コメント

<東海大学文理融合学部 内山 忠准教授>

考えるきっかけになった。それが一番大事。自分たちの住む街を良くするにはどう考えていくべきかの入口になった。例えば、中心市街地はひとが集まるので、そこに商業施設などは集約させた方が良いが、今回のテーマは公共施設に絞ったもの。本来は、まちには住宅や商業区などもあるわけだが、これらは民間企業だから自治体で扱うことはできない。扱えるものをどう扱っていくかを考えながら、良くしていくのか。スポーツ施設も中心市街地にあったり、郊外にもあるが、やはり中心市街地の方が利便性は高い。

深く考えれば、いろんな考えがある。今回のゲームだけではそれを認識するのは難しい。だから、入り口として、ぜひこれをきっかけにどこに着目するか、その後、その考えが正しいか考えながら深く考えてほしい。焦点を当てること、深く考えること、この2点を大切にしてほしい。

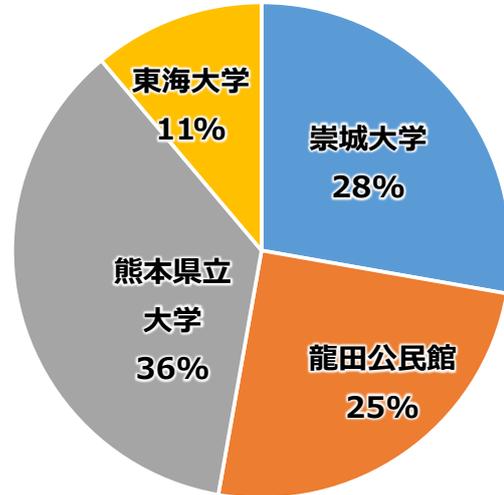
5か所目の開催地として予定していた富合公民館（南区）でのワークショップについては、参加者が少なかつたため、開催を見送りました。

## アンケート 結果

令和6年（2024年）11月11日～11月28日に実施した  
公共施設マネジメントワークショップの参加者アンケート結果です。

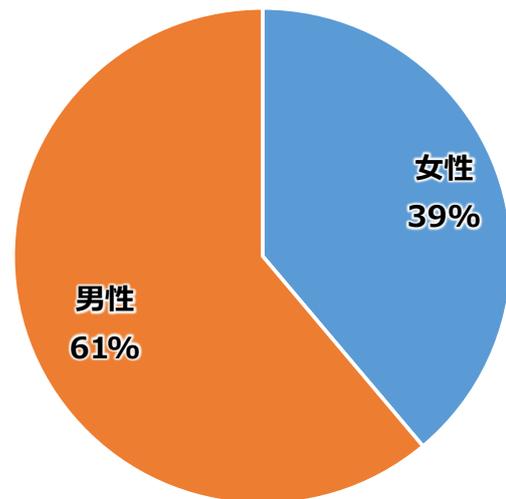
### （会場）

- ・崇城大学（20名）
  - ・龍田公民館（18名）
  - ・熊本県立大学（26名）
  - ・東海大学（8名）
- （n=72）



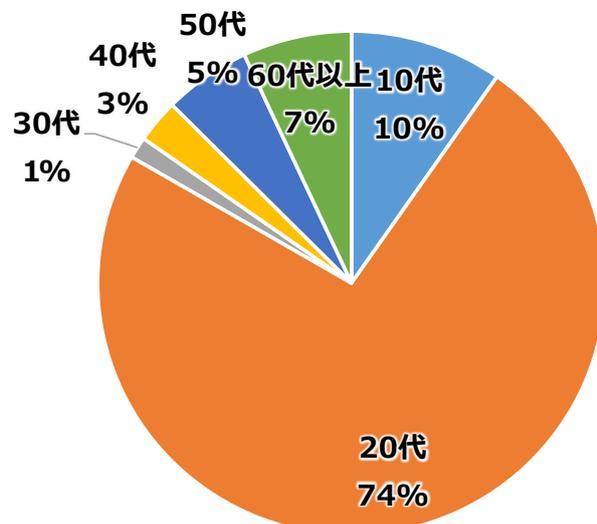
### （性別）

- ・男性（44名）
  - ・女性（28名）
- （n=72）



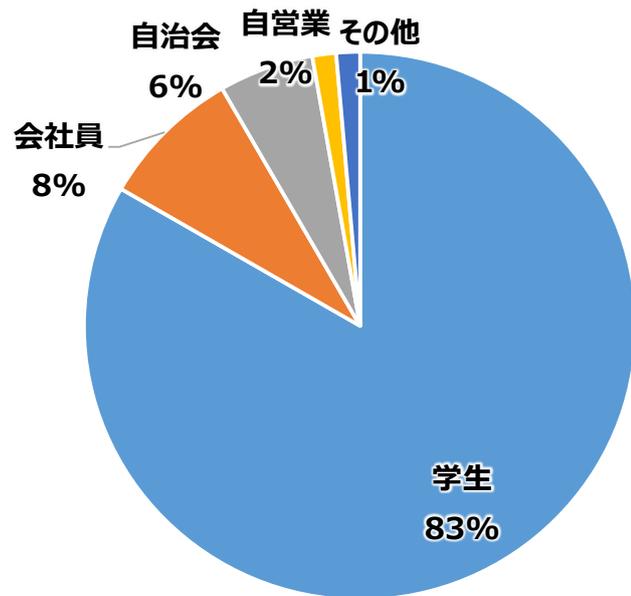
### （年代）

- ・10代（7名）
  - ・20代（53名）
  - ・30代（1名）
  - ・40代（2名）
  - ・50代（4名）
  - ・60代（5名）
- （n=72）



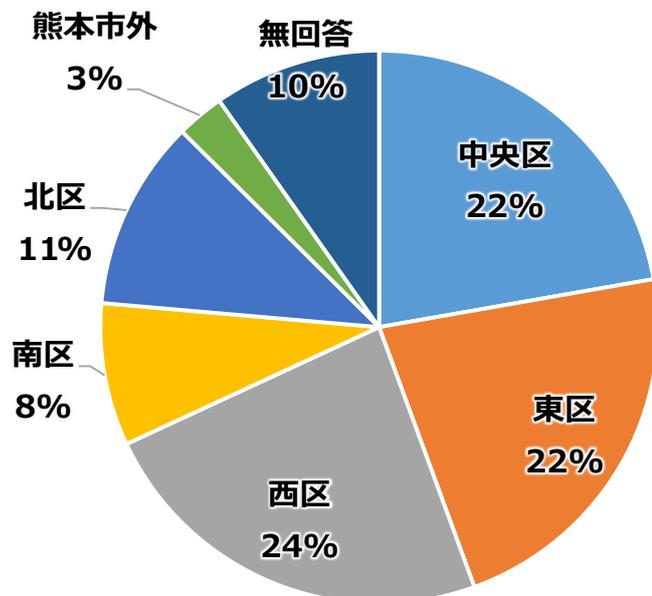
(所属)

- ・学生 (60名)
  - ・会社員 (6名)
  - ・自治会 (4名)
  - ・自営業 (1名)
  - ・その他 (1名)
- (n=72)



(居住地)

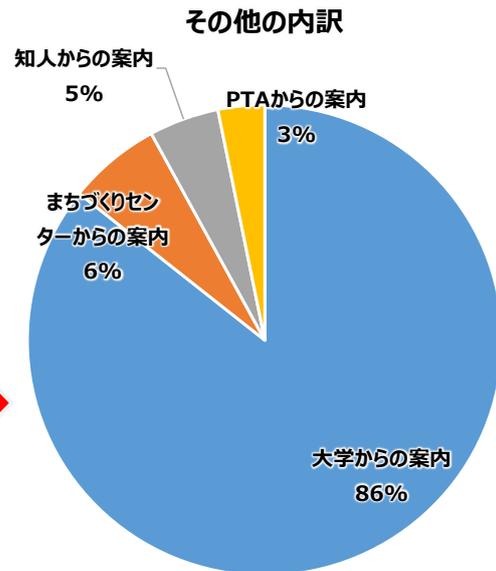
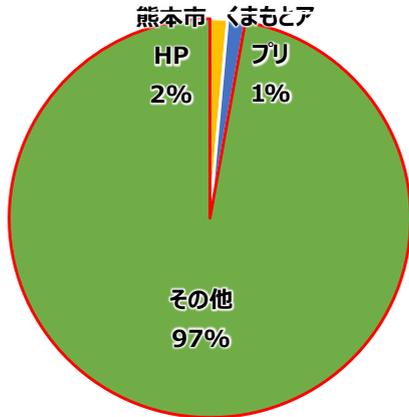
- ・中央区 (16名)
  - ・東区 (16名)
  - ・西区 (17名)
  - ・南区 (6名)
  - ・北区 (8名)
  - ・熊本市外 (2名)
  - ・無回答 (7名)
- (n=72)



### (質問 1)

本日のワークショップ開催を何で  
知りましたか。

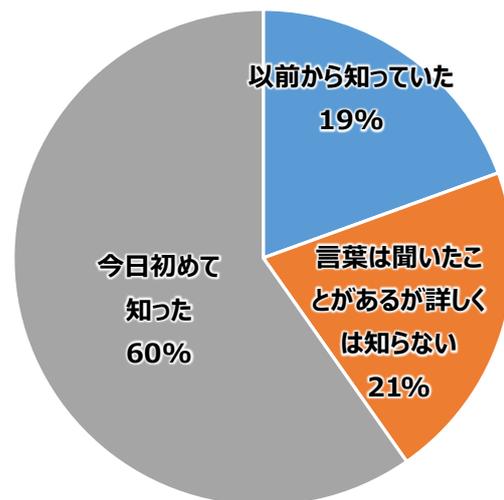
(n = 72)



### (質問 2)

今日までに公共施設マネジメントという言葉を知っていましたか。

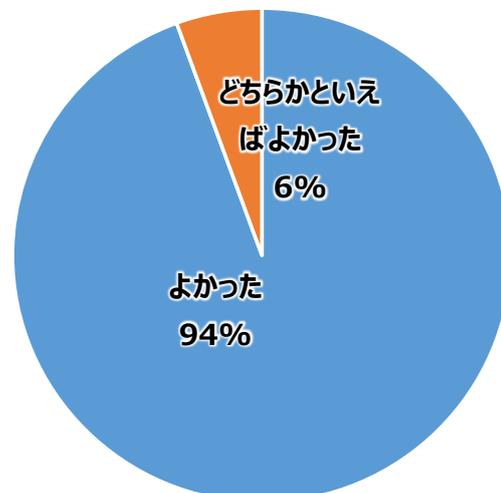
(n = 72)



### (質問 3)

本日のワークショップに参加されたご感想として、該当するもの 1 つに○をつけてください。

(n = 72)



#### (質問 4)

Q3 を選択した理由をお書きください。(n = 69)

【コメント一部抜粋】

公共施設のマネジメントについて初めて考えたので、財政と人々の要望をうまく調整することがとても難しいと感じた。要望の折り合いをどのようにつけるか、という視点で考えることができてよかった。

今までただ何となくサービスとして享受してきた公共施設はたくさん考えられた上で造られたものであると気づくことができた。自分事として捉えて最善を目指すためにどうすればよいか、市民として考えていきたい。

年齢や立場が異なると、当然要望が異なるため、互いの立場を尊重しながら既存の形に捕らわれず様々な工夫を講じていくことが重要であると考えた。このことは、今後社会人として生きていくうえで参考になると考えたから。

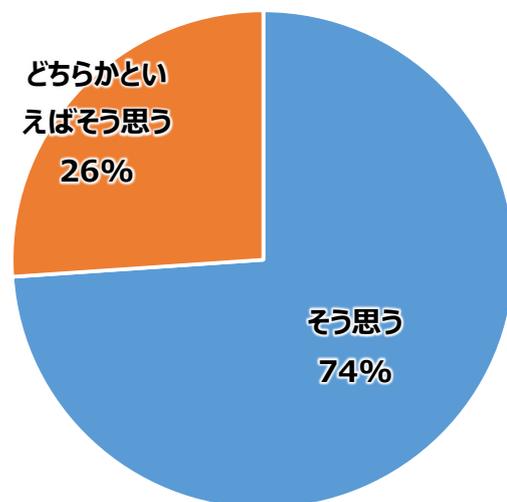
自分の立場だけでなく、他人の立場も考えながら合意形成する難しさを実感することができました。様々な人の意見やコストを考慮しながら、自分たちの納得のいく市をつくることができて良かったです。

普段、何気なく「ここきれいにしてほしいな」と感じる公共施設をどれだけ県や市の方々が、財源と照らし合わせて考えられているかを知ることができたから。また、住民からも「ボランティア」などの形でできることがあるのではないかと感じることもできたから。

#### (質問 5)

熊本市における公共施設マネジメントの概要について理解は深まりましたか。該当するもの1つに○をつけてください。

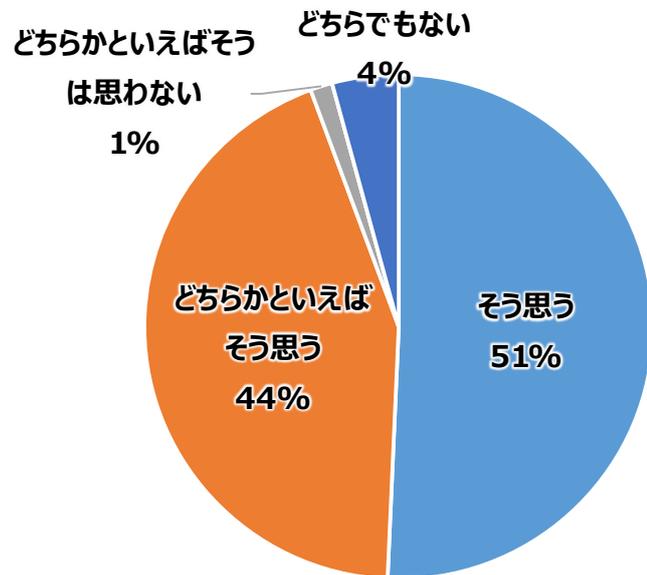
(n = 69)



### (質問 6)

「公共施設マネジメントゲーム」のルールは分かりやすかったですか。該当するもの1つに○をつけてください。

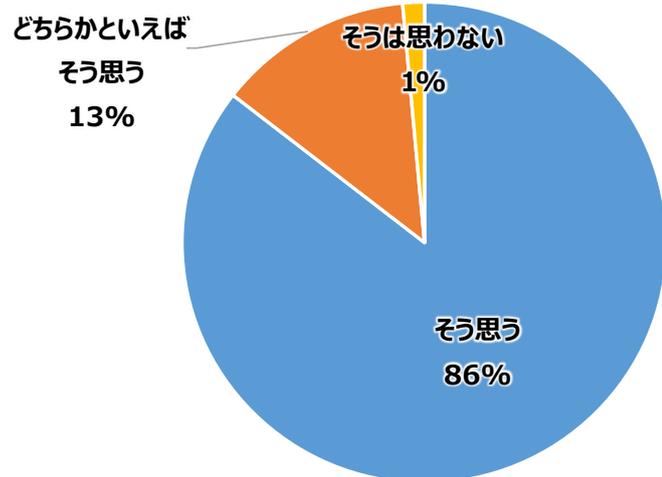
(n = 69)



### (質問 7)

「公共施設マネジメントゲーム」をやってみて、公共施設のマネジメント（公共施設の規模適正化・再編など）の必要性について理解は深まりましたか。該当するもの1つに○をつけてください。

(n = 69)

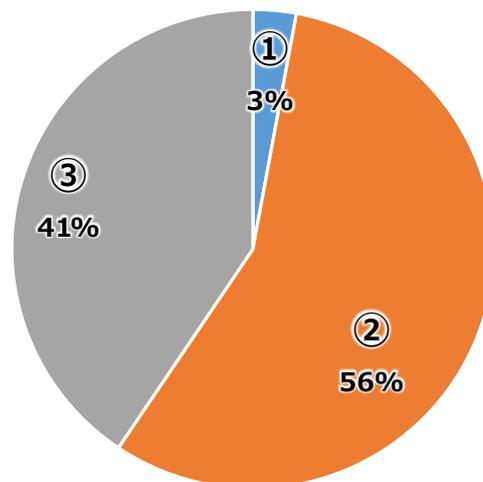


## (質問 8)

公共施設の老朽化問題とそれに伴う財政負担について、どのように取り組むべきだとお考えですか。  
該当するもの 1 つに○をつけてください。

### 【選択肢】

- ①負担が増えても、現存する公共施設等を今の水準・規模で建替える
- ②現存する公共施設等に優先順位をつけて、施設の更新時に、必要なものだけ建替える
- ③将来世代に負担がかからないようにするため、早期に公共施設の規模適正化・再編等に取り組む
- ④その他



## (質問 9)

その他、本市の公共施設のあり方について、ご意見やお気づきのことがございましたら、ご自由にお書きください。

### 11/11 会場：崇城大学



20代/女性

初めてこのようなワークショップで参加したが、世代の異なる人と交流できて楽しかった。



60代/男性

高齢化に伴い、公共施設とそれを取り巻く交通網についても考えてほしい。

### 11/14 会場：龍田公民館



20代/男性

市のそれぞれに配置されている公共施設の意味や役割について考えられることができたので良かったです。その中で、少子高齢化のための対策を考える際には子供は少ないけれども、考えなくてはならないもので、そこを雑に扱ってはいけないのだなと思った。



60代/男性

公共施設建物の保存、廃止、他ランク付けしての計画と広報に努めてほしい。

### 11/18 会場：熊本県立大学



20代/男性

人口の世代ごとの増減による施設の新設、廃止は、慎重に行うことが必要だと感じた。



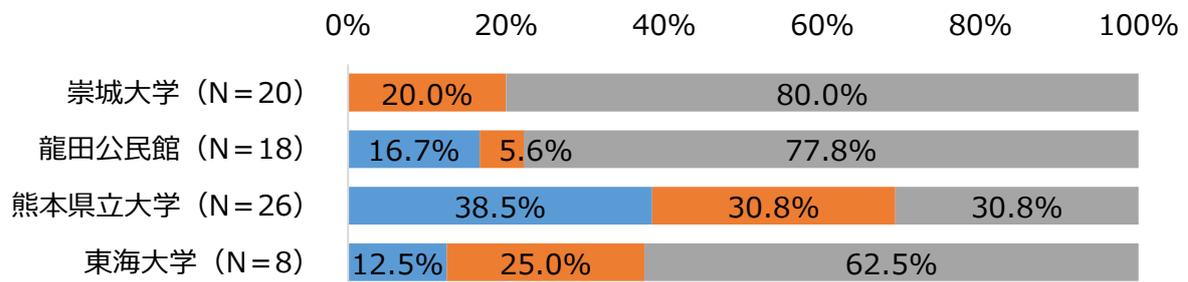
10代/女性

図書館が県立のものと市立のものがけっこう近くにあるから、もうちょっと離して設置するのもいいのではと思いました。

# Appendix

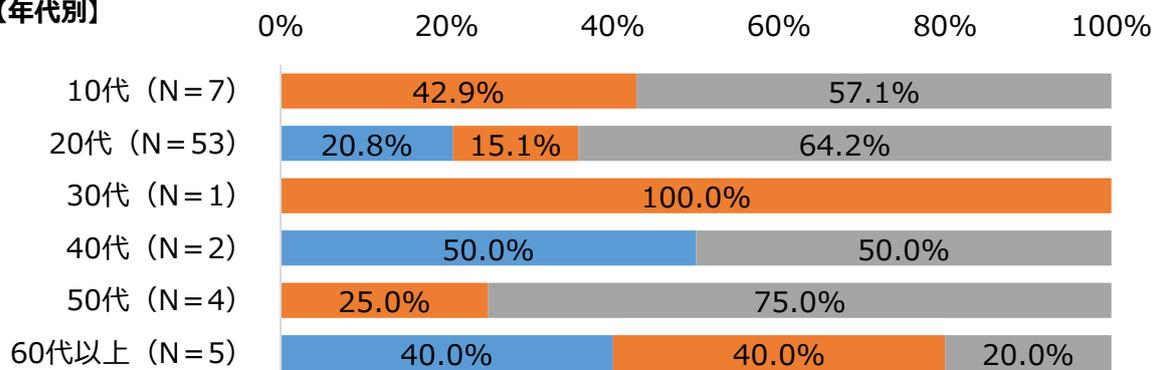
今日までに公共施設マネジメントという言葉を知っていましたか。

【会場別】



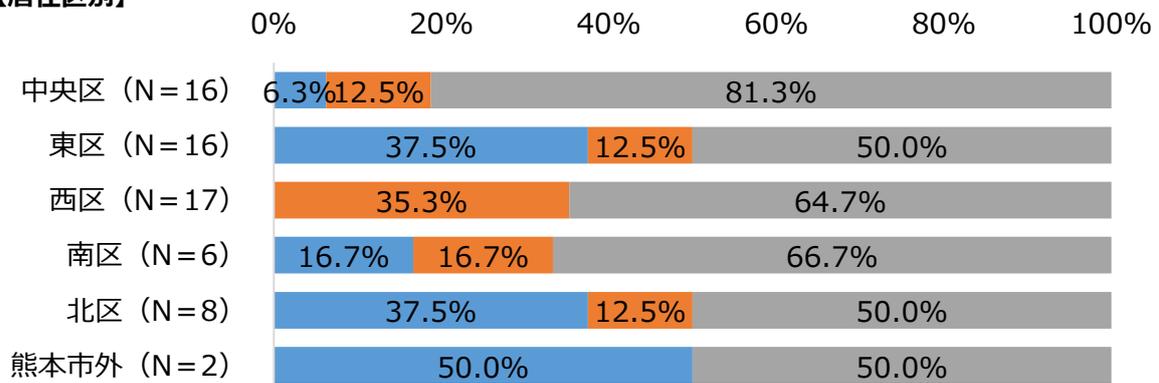
■ 以前から知っていた ■ 言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない ■ 今日初めて知った

【年代別】



■ 以前から知っていた ■ 言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない ■ 今日初めて知った

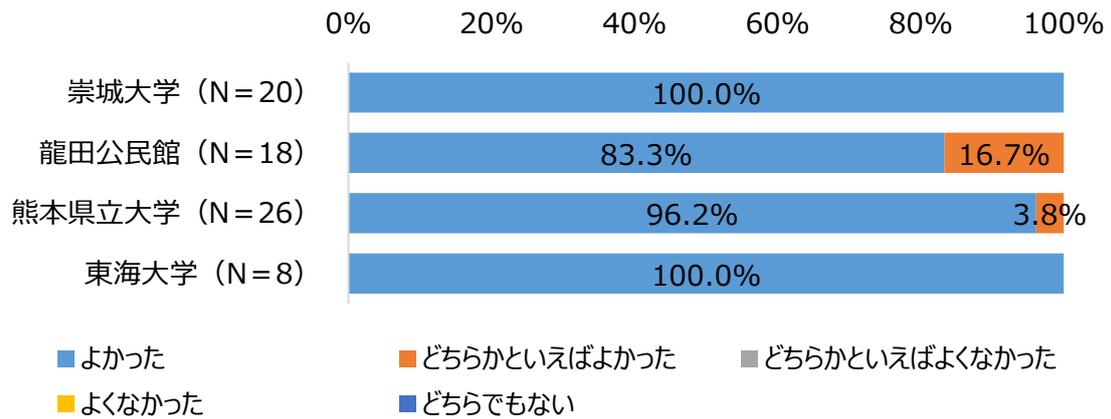
【居住区別】



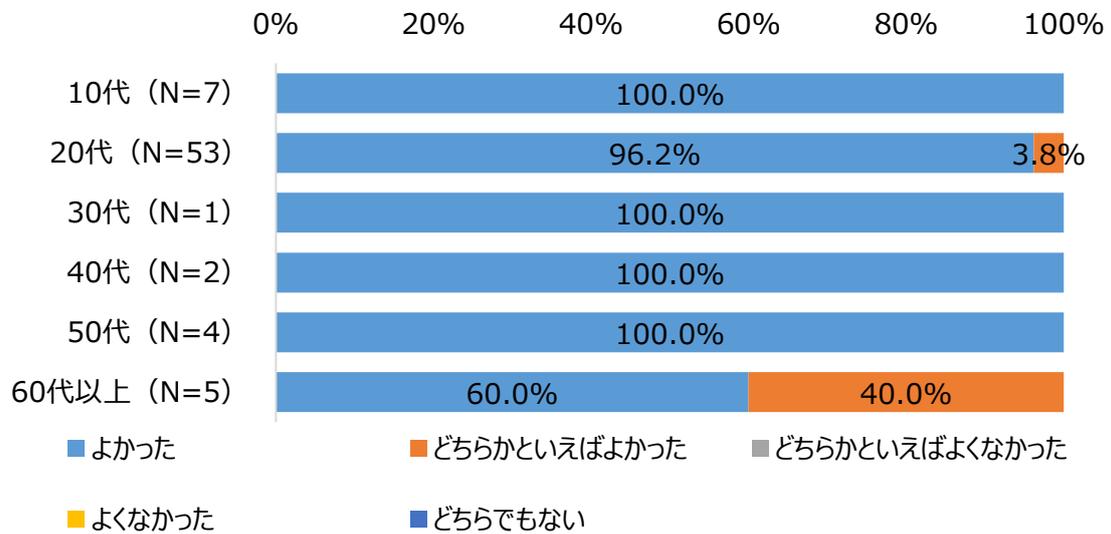
■ 以前から知っていた ■ 言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない ■ 今日初めて知った

本日のワークショップに参加されたご感想として、該当するもの1つに○をつけてください。

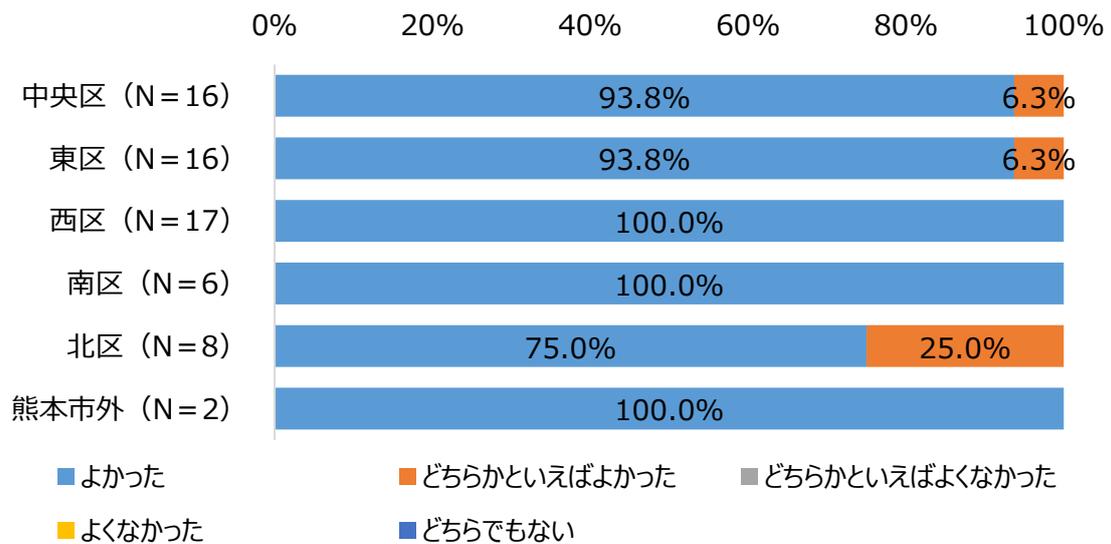
【会場別】



【年代別】

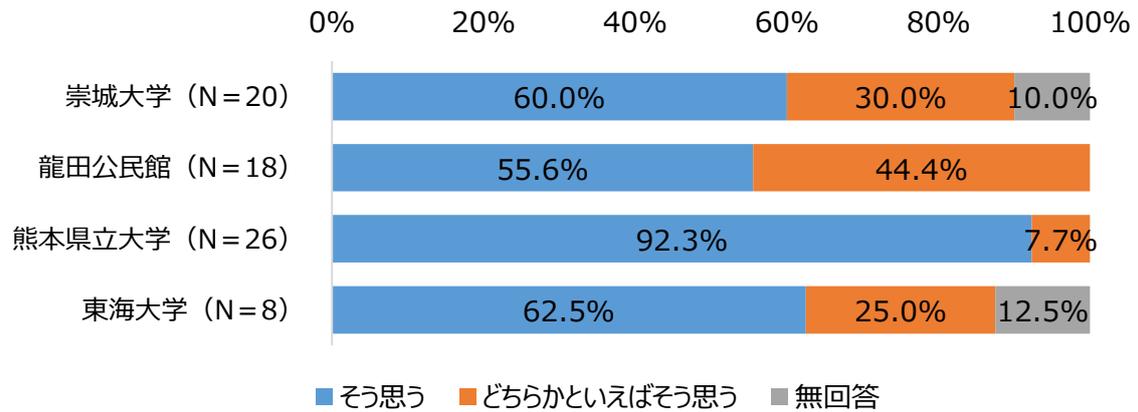


【居住区別】

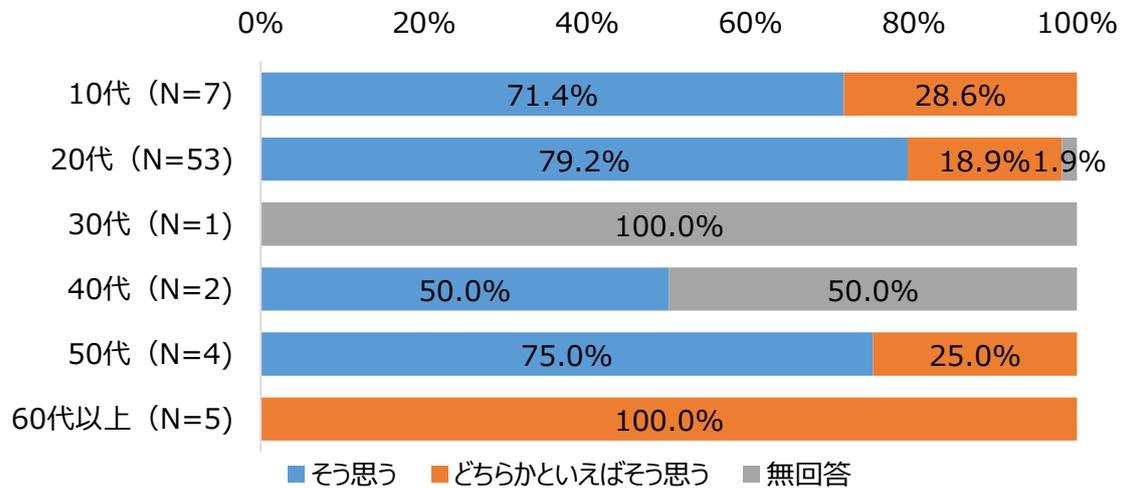


熊本市における公共施設マネジメントの概要について理解は深まりましたか。該当するもの1つに○をつけてください。

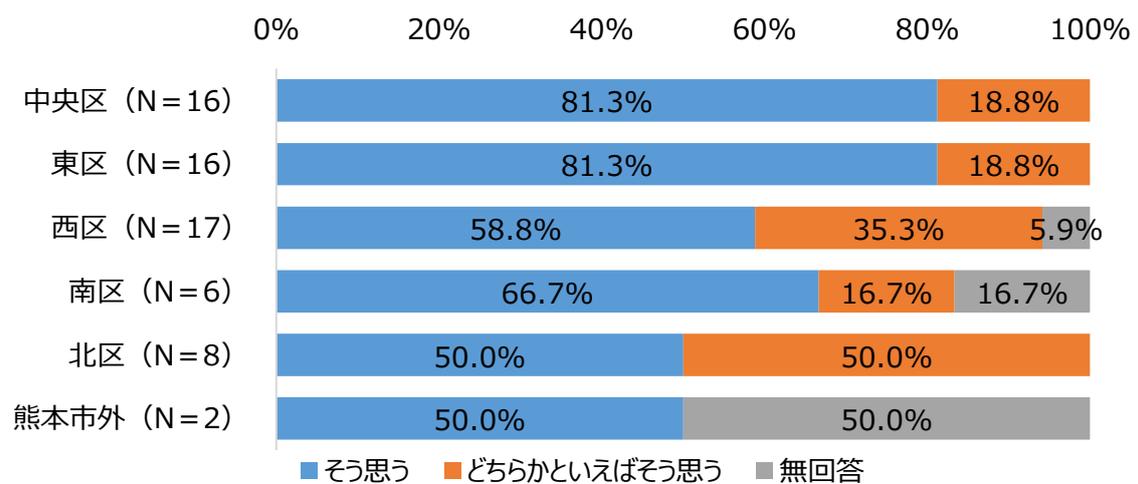
【会場別】



【年代別】

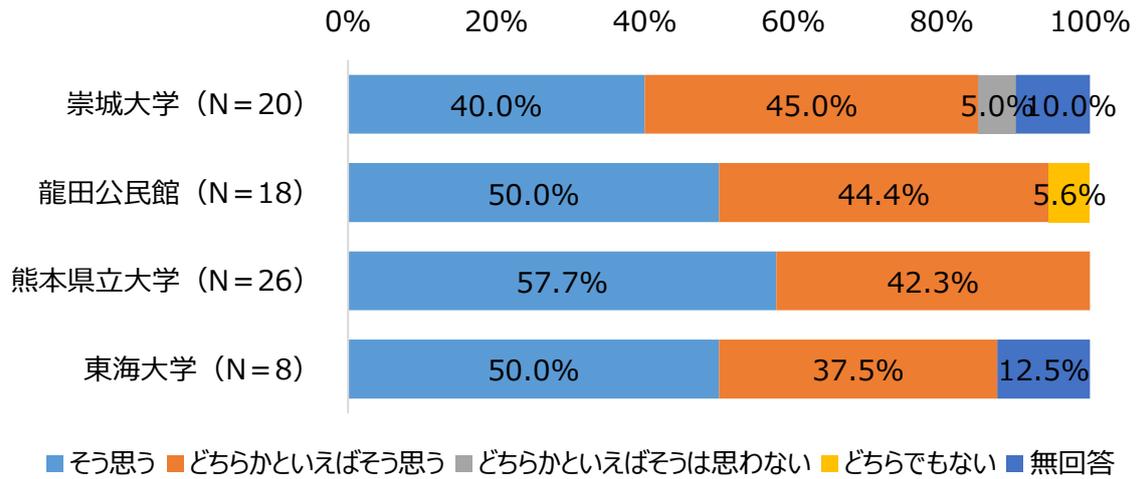


【居住区別】

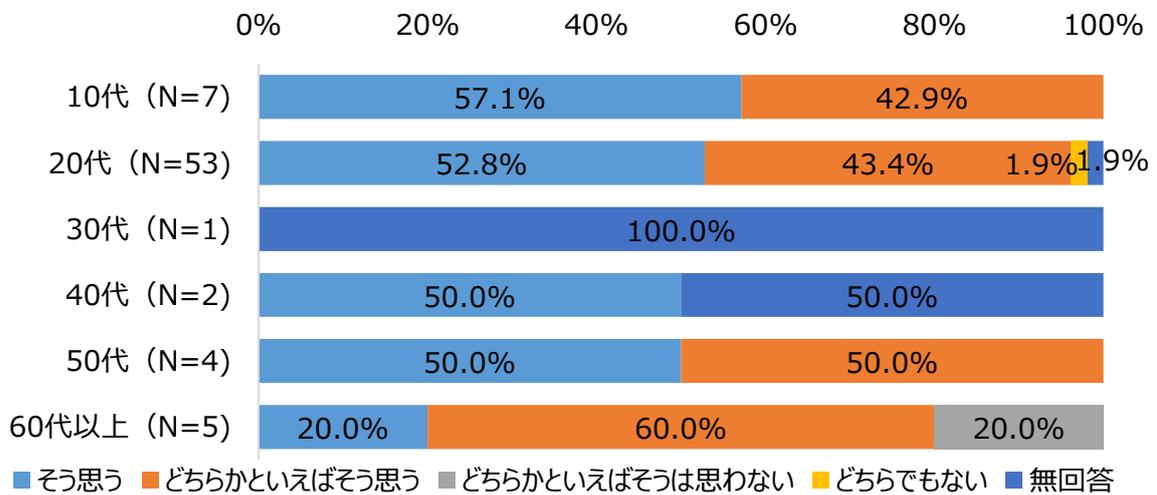


「公共施設マネジメントゲーム」のルールは分かりやすかったですか。該当するもの1つに○をつけてください。

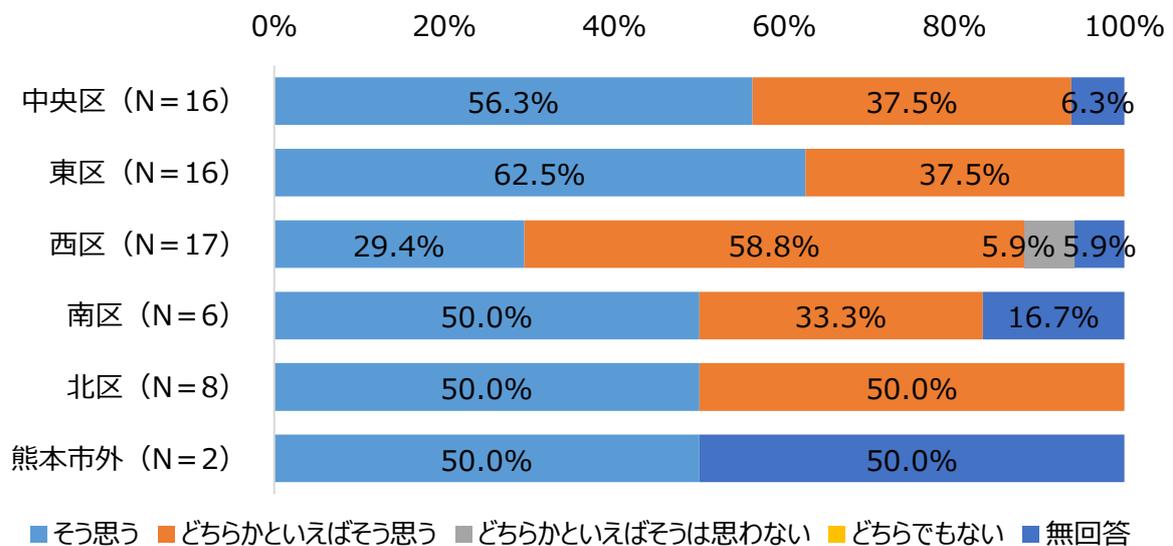
【会場別】



【年代別】

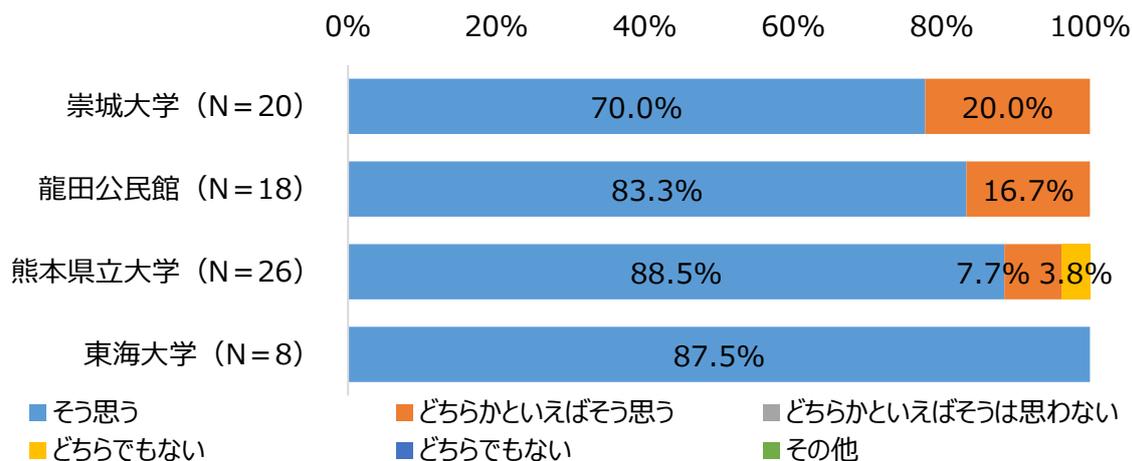


【居住区別】

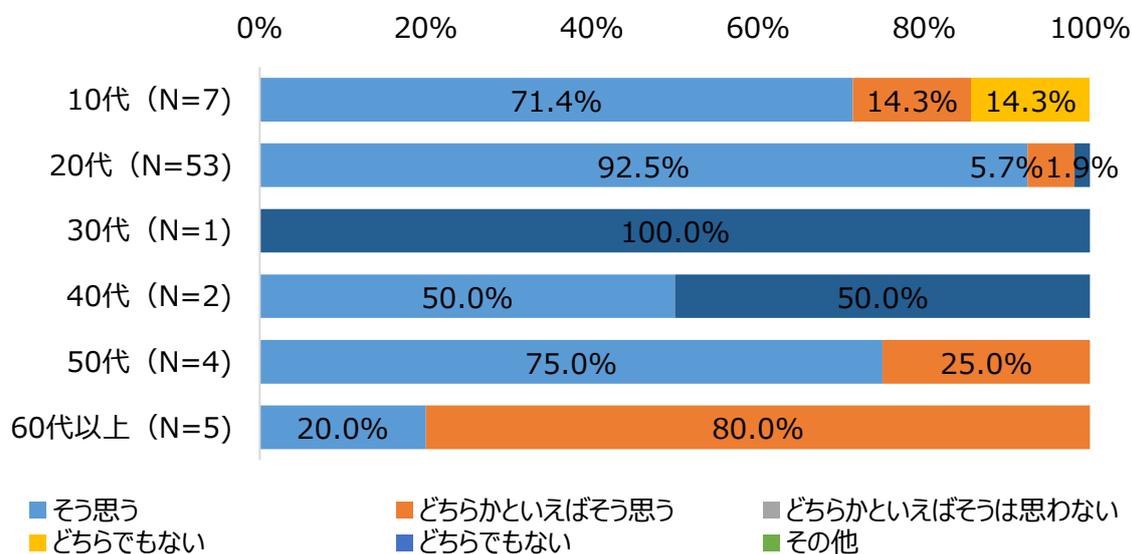


「公共施設マネジメントゲーム」をやってみて、公共施設のマネジメント（公共施設の規模適正化・再編など）の必要性について理解は深まりましたか。該当するもの1つに○をつけてください。

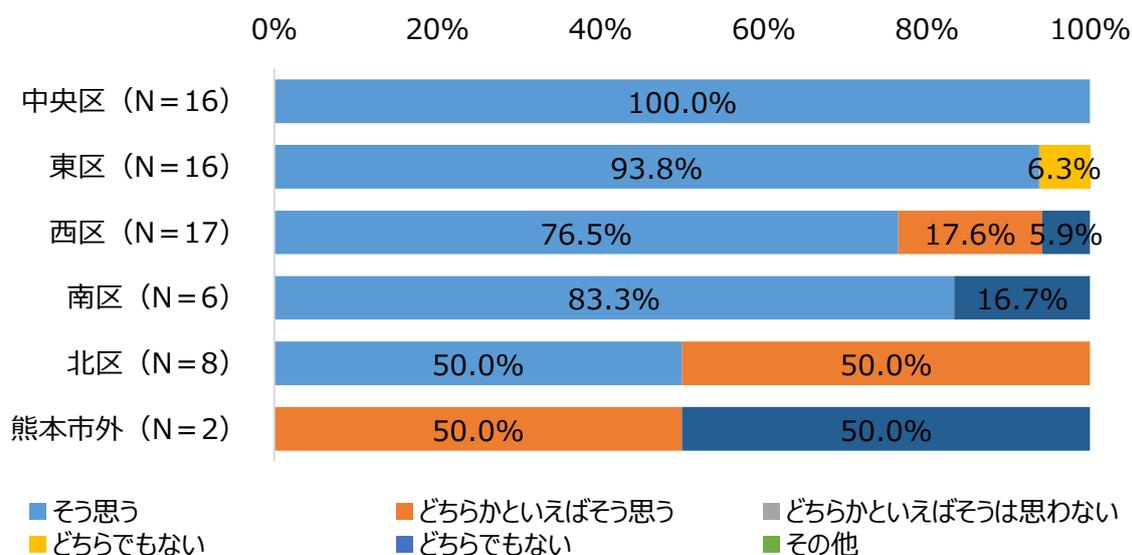
【会場別】



【年代別】

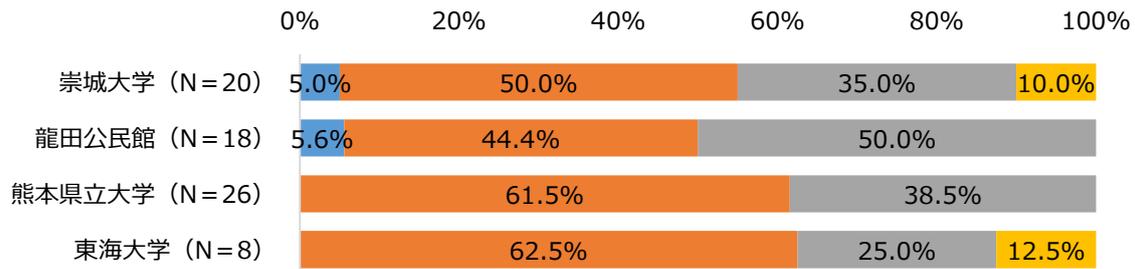


【居住区別】



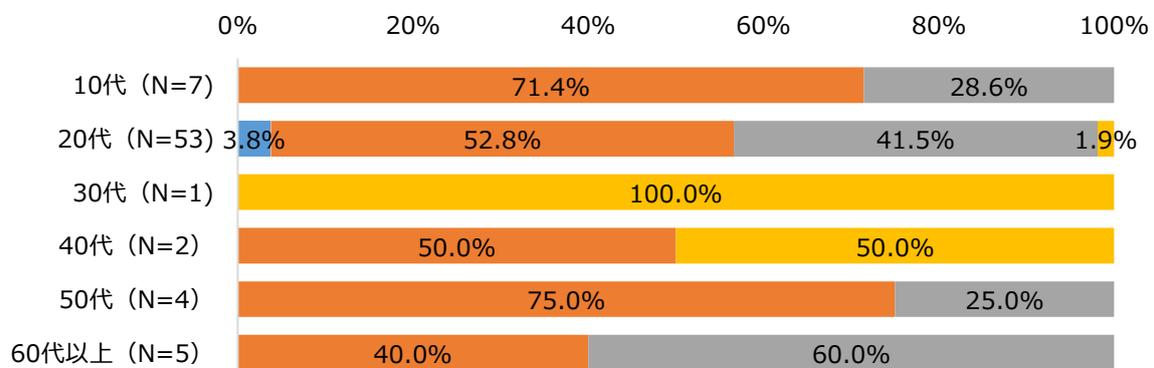
公共施設の老朽化問題とそれに伴う財政負担について、どのように取り組むべきだとお考えですか。

【会場別】



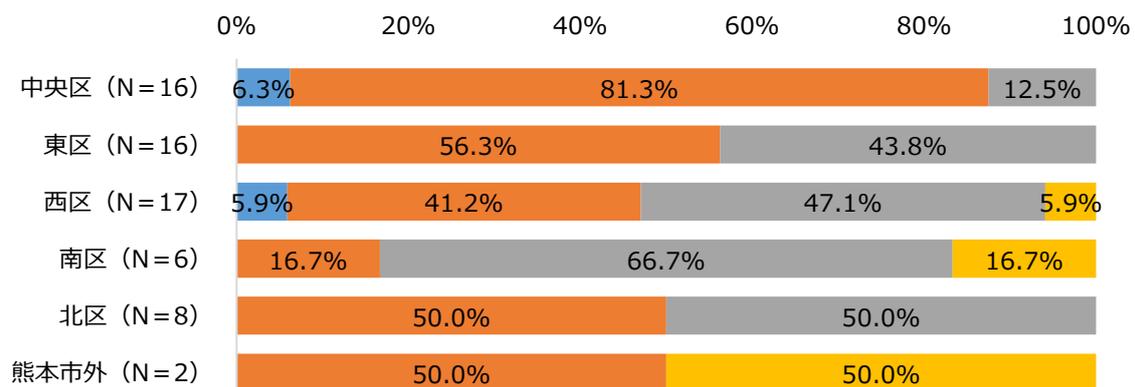
- ①負担が増えても、現存する公共施設等を今の水準・規模で建替える
- ②現存する公共施設等に優先順位をつけて、施設の更新時に、必要なものだけ建替えを行う
- ③将来世代に負担がかからないようにするため、早期に公共施設の規模的成果・再編等に取り組む
- ④その他

【年代別】



- ①負担が増えても、現存する公共施設等を今の水準・規模で建替える
- ②現存する公共施設等に優先順位をつけて、施設の更新時に、必要なものだけ建替えを行う
- ③将来世代に負担がかからないようにするため、早期に公共施設の規模的成果・再編等に取り組む
- ④その他

【居住区別】



- ①負担が増えても、現存する公共施設等を今の水準・規模で建替える
- ②現存する公共施設等に優先順位をつけて、施設の更新時に、必要なものだけ建替えを行う
- ③将来世代に負担がかからないようにするため、早期に公共施設の規模的成果・再編等に取り組む
- ④その他

担当：熊本市 財政局財務部 資産マネジメント課  
 開催協力：公益財団法人 地方経済総合研究所